



先週
の
ドル
円

Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

先週
の
相場
概況

27日

ドル円は朝方に109.28円まで下げる場面があったものの、その後は109円台半ばでのみ合いに終始。米英市場が休場で取引参加者が少なく、動意も限られた。

28日

ドル円は欧州時間に一時109.21円まで下落したが、対ユーロ中心にドル高が進んだ影響から徐々に下げ渋った。

29日

日経平均株価が370円超の下落となったこともあり、ドル円もリスク回避目的の売りに押されて109.15円まで下落した。もっとも、NY時間に入ると下げ渋る展開に。米7年債入札が「低調」と受け止められ、米長期金利が低下幅を縮小すると109.70円まで反発した。

30日

トランプ米大統領が「中国との通商交渉は上手くいっている」などの見解を示し、米中の貿易摩擦激化への懸念が和らいだ。ドル円は一時109.93円まで上昇。もっとも、その後にペンス米副大統領が「米国は必要なら中国製品への関税を2倍以上に引き上げることができる」と述べると109.47円まで反落した。

31日

トランプ米大統領がメキシコからの輸入品に関税をかける方針を発表。米国とメキシコや中国の関係悪化を嫌気して終日リスクオフの動きが優勢となり、ドル円は引け間際に一時108.28円と1月15日以来の安値を更新した。

総括

先週のドル円は終盤に失速。週前半は109円台半ばでやや方向感を欠いた展開となっていたが、30日にトランプ米大統領が米中貿易協議に対して楽観的な見解を示すと、一時109.93円まで上昇する場面も見られた。もっとも、ペンス米副大統領が「米国は必要なら中国製品への関税を2倍以上に引き上げることができる」との見解を示したこともあり、買いの勢いも一時的だった。週末31日にはトランプ米大統領が新たにメキシコからの輸入品に関税をかける方針を発表。米国とメキシコや中国の関係悪化や貿易摩擦、世界的な景気の先行き不透明感などが嫌気されてリスク回避の動きが強まり、一時108.28円まで失速した。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値	結果
28日	23:00	火	USD	消費者信頼感指数	*	5月	129.2		130.0	134.1
29日	23:00	水	CAD	BOC政策金利	*	*	1.75%		1.75%	1.75%
30日	21:30	木	USD	GDP改定値	前期比年率	1-3月期	3.2%		3.1%	3.1%
30日	21:30	木	USD	GDP個人消費改定値	前期比	1-3月期	1.2%		1.2%	1.3%
30日	23:00	木	USD	住宅販売保留指数	前月比	4月	3.8%	3.9%	0.9%	-1.5%
31日	21:30	金	CAD	GDP	前期比年率	1-3月期	0.4%	0.3%	0.7%	0.4%
31日	21:30	金	USD	PCEコアデフレーター	前月比	4月	0.0%	0.1%	0.2%	0.2%

一言コメント・・・先週発表の米経済指標は強弱入り混じる結果となりましたが、米国と中国・メキシコとの貿易摩擦激化への懸念からドルが売られる展開となりました。世界的な株価の下落で円高も進みました。

先週の注目された要人発言

27日11:20 トランプ米大統領「北朝鮮との間で良い事が起きるだろう」「8月に日本と貿易に関して何か発表するだろう」「中国との通商協議、合意への準備はできていない」
 27日17:46 西村官房副長官「日米通商交渉、8月合意方針で一致はしていない」
 27日18:00 サルビーニ伊副首相(同盟党首)「古くて時代遅れのEU財政規律を見直すべき」
 28日18:30 モスコビシ欧州委員(経済・通貨担当)「イタリアに対する制裁を支持しない」
 29日21:55 バラッカー・アイルランド首相「10月にブレグジット期限をさらに延長する可能性」「離脱なし、もしくはハードブレグジットを含めたほかの手段もある」
 29日23:00 BOC声明「理事会は緩和的な政策金利が引き続き正当化されると判断」
 30日14:48 トリア伊財務相(イタリア紙報道)「財政引き締めは誤り、と欧州連合(EU)の書簡に回答」
 30日21:54 トランプ米大統領「米国は中国と上手く付き合っている、中国は我々と合意したい」
 30日22:46 ボルトン米大統領補佐官(国家安全保障問題担当)「英国とファーウェイや5Gについて話し合っている」「米国がファーウェイについて最終決定を下したわけではない」
 31日08:36 トランプ米大統領「6月10日からメキシコからの輸入品全てに5%の関税をかける」「メキシコへの関税は不法移民の流入が止まるまで実施」「メキシコへの関税は7月1日から5%以上への引き上げを開始し、10月1日に25%に達するまで継続する」

一言コメント・・・先週もトランプ米大統領の発言に振り回される神経質なマーケットとなりました。また、英国では退陣を表明したメイ首相の後任を選ぶ与党・保守党の党首選で、「合意なき離脱」も辞さない面々が有力視されており、市場は先行き不透明感が高まっています。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
3日	23:00	月	USD	ISM製造業景気指数	*	5月	52.8		53.0
4日	13:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	1.50%		1.25%
5日	21:15	水	USD	ADP雇用統計	前月比	5月	27.5万人		18.3万人
5日	23:00	水	USD	ISM非製造業指数	*	5月	55.5		55.5
6日	20:45	木	EUR	ECB政策金利	*	*	0.00%		0.00%
7日	21:30	金	CAD	新規雇用者数	*	5月	10.65万人		-0.55万人
7日	21:30	金	USD	NFP	前月比	5月	26.3万人		18.0万人

今週の注目は・・・米重要指標相次ぐ

週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - 荻野金男
 - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - 今井雅人
 - 越後屋の小言

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。